



いつか 必ず きっと

七夕の日に、人と人を「結」びつける学年集会を行いました。

7月7日（火）の6校時に、学年集会を行いました。今回の講師は、社会科担当の大関崇真先生です。今回の集会の目的は、アイスブレイクです。大関先生の人柄で雰囲気や緊張をほぐした後に、自分が考えた宇都宮の名所をクラス内の人、クラス外の出身小学校の違う同姓、異性の人を見つけて紹介するという課題に全員が積極的に関わっていました。宇都宮にある城の数など、地元のことについて、まだまだ知らないことがあるということが分かったように、お互いのことについてもまだまだ知らないことがたくさんあると思います。

人の悪いところは意識をしていなくても目につきます。逆に、人のいい所を見る目は、意識して養わなければいけないのです。相手のことを無条件に好きになることはできなくても、相手の良いところを探し出すことはできます。良いところが分かれば、その人をただの苦手な人としてだけではなく、尊敬の対象としてみる事ができるのです。そうすると、苦手な人に対して出てくる言葉や態度が変わってきます。そんなあなたの良いところをきっと相手も見えてくれるようになると思いますよ。



**微力ではあるが、無力ではない
「私は、私にできることをしているだけ」**

見よ！この素晴らしい自転車の止め方を！一番早く来た人が、次の人のことを考えて校舎側から詰めて置き、次の人が、後から来る人のことを考えて止める。一人一人が、誰かのために自分のできることをやれているからこそ、みんなが気持ちよく駐輪場を利用することができるのです。

それぞれが、自分に与えられた係や当番の仕事をこなすだけで、それ以外のことには無関心だとうはなれません。与えられた仕事を行うのは当たり前。それ以外のことで、誰かのために自分のやれることをやることが、人と人を結びつけるのです。世の中の困っている人を救えるような大きなことはできなくても、クラスや学年をみんなが気持ちよく過ごせる場所にするためにできることは必ずあります。みなさんは、微力ではあるが、無力ではないのです。ありがたい言葉が飛び交い、プラスのエネルギーが途絶えることなくつながっていく、それが完全燃焼軍団です。

「何が正しいのか」を指針としている人は、人の悪いところに目がいきます。
「何が楽しいのか」を指針としている人は、人のいいところに目がいきます。

「当たり前」と思っている人は、人の悪いところに目がいきます。
「ありがとう」と思っている人は、人のいいところに目がいきます。

人を変えようとする人は、人の悪いところに目がいきます。
自分を変えようとする人は、人のいいところに目がいきます。

自分の言いたいことを言う人は、人の悪いところに目がいきます。
人の言いたいことを聴こうとする人は、人のいいところに目がいきます。

トラブルになったとき喧嘩になってしまう人は、人の悪いところに目がいきます。
トラブルになったとき話し合いができる人は、人のいいところに目がいきます。

感情が理性をぶち壊す人は、人の悪いところに目がいきます。
理性で感情をコントロールできる人は、人のいいところに目がいきます。

DJあおいの「働く人を応援します！」参照

